



Raspberry Pi

Raspberry Pi 財団セーフガードポリシー

作成者: マリア・デケバード(RPF セーフガード・リード)
承認者 フィリップ・コリガン (RPF最高責任者)
承認日 2021年12月
次回のレビュー期日 2022年12月

1. このポリシーは、Raspberry Pi 財団のセーフガードに対する考え方を定めたものです。この方針は定期的に見直され、最高経営責任者の承認を得ています。
2. Raspberry Pi 財団は、いかなる児童、青少年、脆弱な成人も、いかなる種類の虐待も経験してはならないと考えています。私たちには、すべての子どもたち、若者および弱者の福祉を促進し、その安全を守る責任があります。私たちは、それを保護するために行動することを約束します。
3. このポリシーは、すべてのスタッフ、理事、ボランティアおよびセッションワーカー、代理店のスタッフ、ならびに地域団体、クラブ、またはナショナルパートナーなど、Raspberry Pi Foundation (RPF) のために働くすべての人に適用されます。
4. Code Club, CoderDojo, クーレストプロジェクト、トレーニング、その他私たちが直接指導するイベントなど、RPFのすべてのプログラムおよび活動を対象としています。また、独自の保護方針を持っている会場でのイベントにも参加しており、そのような場合には、この方針は会場の方針を補足するものと見なされます。
5. 本ポリシーの目的は、以下のとおりです。
 - a. RPFの活動に参加する子ども、若者、弱い立場の人を保護すること。
 - b. セーフガードと児童保護に対する私たちのアプローチの指針となる包括的な原則を、スタッフとボランティアに提供すること。
6. このポリシーは、1989年英国児童法、1991年国連児童権利条約、1998及び2018年英国データ保護法、1998年英国人権法、2003年英国性犯罪法、2004年英国児童法、2006年英国弱者保護法、2012年英国自由権保護法、2014年英国児童家族法、2015年アイルランド児童ファーストを含む以下のような子どもを保護しようとする法律やガイダンスに基づいて作成されています。

7. このポリシーは、データ主体の権利およびデータ保持ポリシーに関する詳細情報を記載した [プライバシーポリシー](#) と合わせてお読みいただく必要があります。その他の関連するポリシーは以下のとおりです。
 - a. [行動規範](#).
 - b. [ソーシャルメディアとコミュニケーションに関するガイドライン](#)。
 - c. [虐待の認識と申告への対応に関するガイダンス文書](#)。
 - d. [オンラインセッションを安全に実行するためのガイドライン](#)。
 - e. [オンラインセッションに参加する子どもをサポートするための大人のためのガイド](#)。
 - f. [オンラインセッションに参加する子どもの行動規範](#)。
8. 私たちは以下のことを認識しています。
 - a. 子ども、若者、弱い立場の人の福祉が最優先されます。
 - b. 年齢、障害、性別、人種的遺産、宗教的信条、性的指向、またはアイデンティティにかかわらず、すべての子供および脆弱な成人はあらゆる種類の危害および虐待から平等に保護される権利を持っていること。
 - c. 福祉を推進するためには、子ども、若者、弱い立場にある人、保護者、介護者、およびその関係機関との連携が不可欠です。
9. 子ども、若者、弱い立場の人を守るために以下のことを行います。
 - a. すべての子ども、若者、弱い立場の人を大切にし、尊重し、耳を傾けること。
 - b. Raspberry Pi 財団のセーフガーディングリーダー、各主要活動分野のリーダー、セーフガーディング担当の理事を任命し、トレーニングを実施すること。
 - c. スタッフやボランティアのための明確な手順、[行動規範](#)、[ソーシャルメディアとコミュニケーションのためのガイダンス](#)の推進を通じて、保護に関するガイドラインを実施すること。
 - d. スタッフやボランティアを安全に採用する、現地の法律と優れた実践に則り、必要なすべてのチェックが行われることを確実にすること。Raspberry Pi・ファウンデーションのスタッフは全員、3年ごとに犯罪歴のチェックを受けています。また、現地の法律に従い、アイルランドの全従業員は、アイルランドのオフィスに掲示されている [児童の安全保護に関する声明](#) を遵守することが義務付けられています
 - e. [無料のオンライン研修モジュール](#)を含め、すべてのスタッフ、評議員、ボランティアに効果的な保護教育を提供し、指定保護チームは定期的に詳細な保護教育に参加し

ます。

- f. 私たちは、私たちを取り巻く環境の変化に迅速に対応し、必要に応じてシステムを見直し、追加のガイダンス、トレーニング、リソースを開発しています。
- g. Raspberry Pi 財団の国内、地域、成長パートナーとの契約には、このセーフガードポリシーとすべての関連する地域の法律や慣習を遵守し、毎年パートナーライセンス審査の一環としてセーフガード自己評価を完了する義務が含まれていることを確認すること。
- h. Raspberry Pi 財団のセーフガード・ポリシーとガイドラインを効果的に実施できるように、海外のパートナーに追加のガイダンスを提供すること。
- i. スタッフやボランティアに対するいかなる申し立てにも、明確な手順に従い、適切に対処すること。
- j. 懸念事項に関する情報を適切な機関と共有し、親、子ども、弱い立場にある人を適切に参加させること。
- k. セーフガードに関する事件や懸念は、直ちに Raspberry Pi 財団セーフガードリードに報告し、受領後24時間以内に最高経営責任者とセーフガードリード受託者に報告し、重大な懸念は理事会全体に対応を拡大させてください。
- l. [オンラインセーフガード懸案報告書フォーム](#)と、緊急の保護懸念のための24時間電話サポートサービス+44 (0) 800 1337 112 (英国のみ) または +44 (0) 203 6377 112を提供すること。また、すべてのスタッフとボランティアにこのサービスを知らせること。
- m. いじめ防止環境を整備し、いじめが発生した場合に効果的に対処できるような方針と手順を確保すること。
- n. 効果的な苦情・内部通報の手段を確保すること。
- o. 法律と規制のガイダンスに従って健康と安全対策を適用し、子ども、若者、弱い立場の大人、スタッフ、ボランティアのために安全な物理的環境を必要とすること。
- p. Raspberry Pi 財団の保護方針、慣行、文化について、3年ごとに第三者による監査を委託し、本方針の更新を含め、毎年内部監査を実施すること。
- q. Raspberry Pi 財団のセーフガードの実績、方針、手順のレビューを年1回理事会と共有すること。

10. セーフガード・チーム専用

受託者セーフガード・リード: チャールズ・リードビーター

セーフガーディング・リード (**Designated Safeguarding Lead**): マリア・ケベード

maria@raspberrypi.org

指定セーフガーディング・オフィサー。

- a. Code Club: タマシン・グリーンナフ・グラハム tamasin.g.graham@raspberrypi.org
- b. CoderDojo: ジョン・マッカートニー、john.mcatominey@raspberrypi.org
- c. クラブ・グローバル・パートナーズ: ソニア・ビーネルト sonja@raspberrypi.org
- d. コンピュータサイエンスチーム: ファーガス・カークパトリック
fergus.kirkpatrick@raspberrypi.org
- e. エducーターサポートチーム: ダン・エルウィック dan.elwick@raspberrypi.org
- f. イベント: ヘレン・ドゥルリー helen.drury@raspberrypi.org
- g. インフォーマル・ラーニング・チーム: マーク・スコット marc@raspberrypi.org
- h. オペレーション: アンドリュー・モートン andrew.morton@raspberrypi.org
- i. ユース・パートナーシップ: トム・ハドフィールド tom@raspberrypi.org

方針終了